

# RASCAL データベース複製の検証

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[CAD の RASCAL データベースを検証する](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Agent Desktop の RASCAL データベースの複製をすぐに検証する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco Agent Desktop ( CAD )
- Microsoft Structured Query Language ( SQL ) Finesse Server

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## CAD の RASCAL データベースを検証する

CAD の RASCAL データベースを検証するには、次の手順を実行します。

1. [System Databases] の下に [craDistribution] があるかどうかを確認します。

2. A サイド ( パブリッシャ側 ) の [Local Publication] をチェックします。
  3. B サイド ( サブスクライバ側 ) の [Local Subscription] をチェックします。
- 複製が有効化されたら、マスター側の SQL Agent で SQL ジョブを検証します。

[Category] 列にある [REPL-Snapshot] というジョブが、パブリッシャ データベースのイメージを作成しサブスクライバ データベースに複製します。 [REPL-Merge] というジョブは、初期データのプッシュ後に、パブリッシャとサブスクライバ間でのデータ複製を続行します。

注: [REPL-Merge] の状態は常に [Executing] です。 ジョブの数は、使用する CAD のバージョンによって異なります。

完了したら、データが複製されているかを確認するためにデータベースを比較します。

RASCAL サービスで書き込まれ、使用されるデータは 3 つのテーブルに格納されています。

- FCRasCallLogWeek
- FCRasRecordLog
- FCRasStateLogToday

[FCRasCallLogWeek] テーブルと [FCRasStateLogToday] テーブルのいずれかまたは両方を右クリックし [Properties] を選択します。

選択したテーブルの [Row count] フィールドで示されるレコード数をメモします。次に、もう一方のデータベースから同じテーブルのプロパティを確認します。大きくて多忙なコールセンターなどでは、数値がいくらか異なることはあり得ます。ただし、一方が数千レコードで他方がゼロであれば、明らかに問題が生じています。